

就任にあたっての挨拶

今日、初登庁させていただきました第三代伊勢崎市長に就任しました臂泰雄と申します。

これまで多くの皆さんにご支援いただきながら市長選に立候補し、この選挙を行ったわけであります。その中で市民の皆様、これからの伊勢崎市が将来に向けて持続可能な地方都市として次の世代に引き継がなければならないという、自分に課せられた役割があるということを訴えながら選挙戦を戦ってきました。何よりも自分の思いを実現するためには市の職員の皆様の力を借りなければ何もできないことだと認識しております。市議、県議の経験を生かしながら、そして皆様の力をいただきながら実現に向けて邁進していきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

私は環境についてこれまで関わる中で、MDGsやESDなどさまざまな取り組みをして、これからの持続可能な社会を作るための環境施策をやってきましたが、これが実現できていません。そのことを受けてSDGsという考え方を使って世界を変えていこうというのが、国連の考え方だと思います。SDGsの考え方で一番大事なことは事業者をこの中に取り込んだということであります。国連は実現可能な施策をするためには事業者、経済の部分をしっかりと取り込むことをポイントとしてSDGsを作ったんだと思います。そこまで世界の環境問題は大変なところまできている。同じことが伊勢崎市にも言えると思います。

合併から15年経ちましたが、当初の建設計画も見てきました。それぞれの合併市町村でやりたい施策がありましたが、なかなかそれを実現できなかった経緯があります。激変緩和施策は県議時代に公共施設あり方検討委員会の中で県知事に対して激変緩和をしっかりとやってほしいということで自分自身も言ってきたところですが、ただ、15年経ってまだ激変緩和という考え方をしていたらこれからの伊勢崎市はないというふうに思います。SDGsでいうところのトランスフォーメーション、変革をしなければ次の時代はありません。さまざまな問題がそうであるように、伊勢崎市の将来は今変えていかなければならないんだという思いがあります。

それぞれの部局の皆さんは、これまで伊勢崎市のさまざまな課題を承知で改善のために努力をされていると思いますが、もう一度皆さんと一緒に考えながらこれからの伊勢崎市を作っていきたいと思います。これまでしっかり運営された行政組織なのでこれを大事にしながら、さまざまな意見を聞き、こちらからも述べさせていただく。そして行く方向を共有し、やっていきたいと考えておりますのでご理解いただければと思います。これから本当にお世話になりますが、よろしく願いいたします。

令和3年1月25日

伊勢崎市長 臂 泰雄